

ILFという挑戦

地域匠人材とともに

大学シーズを教員が自ら試作に関与し、市場性問う

耐熱性、耐傷性を改善した漆製品の開発

漆と樹脂製品表面の化学処理、電子線改質により、密着性、耐傷性、耐熱性を向上させた、超耐久性天然素材エポキシ塗料



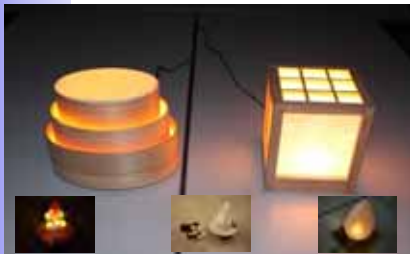
油状態監視装置の試作開発

メンテナンス時期を迅速かつ精度良く判定できる、オンライン潤滑油劣化診断法に必要な安価で簡易的な油状態監視装置



高品質コルジセピンサンプルの作製

多数の薬理活性がある冬虫夏草由来のコルジセピンを医薬品素材として実用化するための高純度コルジセピン粉末



和ろうそくの炎のゆらぎを模したLED照明器具の試作開発

青、橙、赤のLEDを和ろうそくの炎の色の分布に合うよう配置した光源部、異なる周波数で点滅、調光制御する制御部及び電源部より構成されるLED照明器具

スマート蓄電システムトライアルシステムの試作

先進的な効率的エネルギー利用システムのための、安全性を確保した500Wh程度の蓄電池作製とそれを利用した可搬型LIB及びその充電設備の試作



薬剤開発推進を目指したフッ素18標識化合物自動合成システムの製作

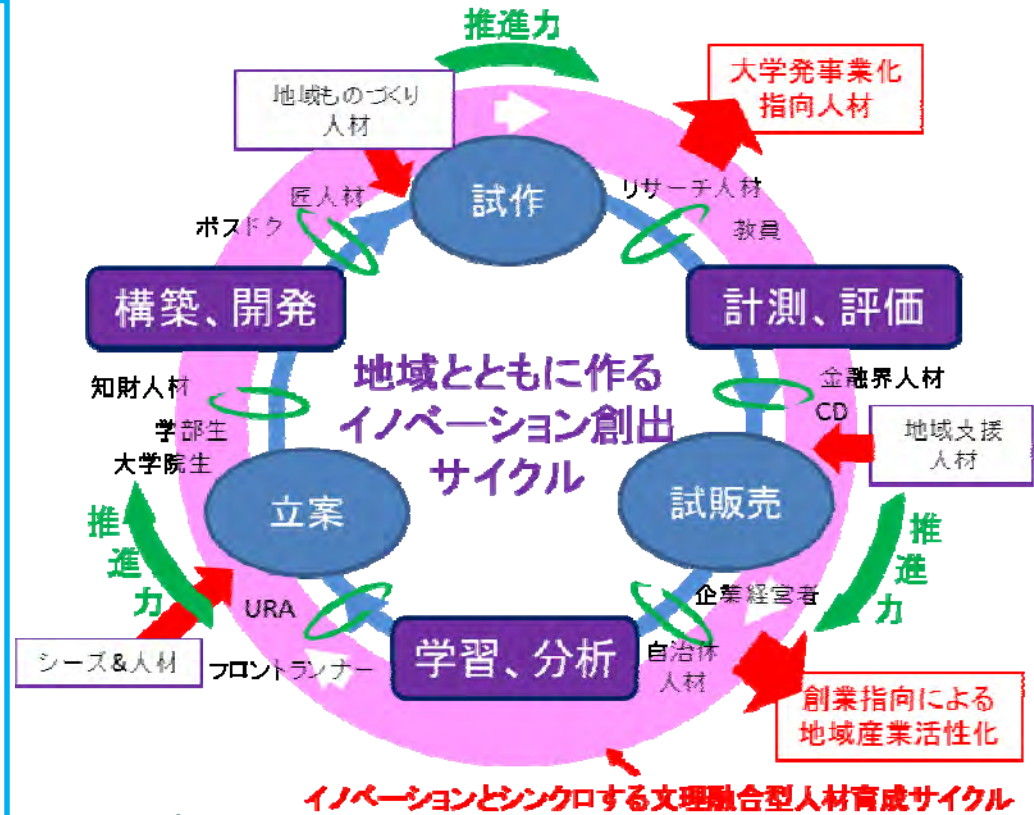
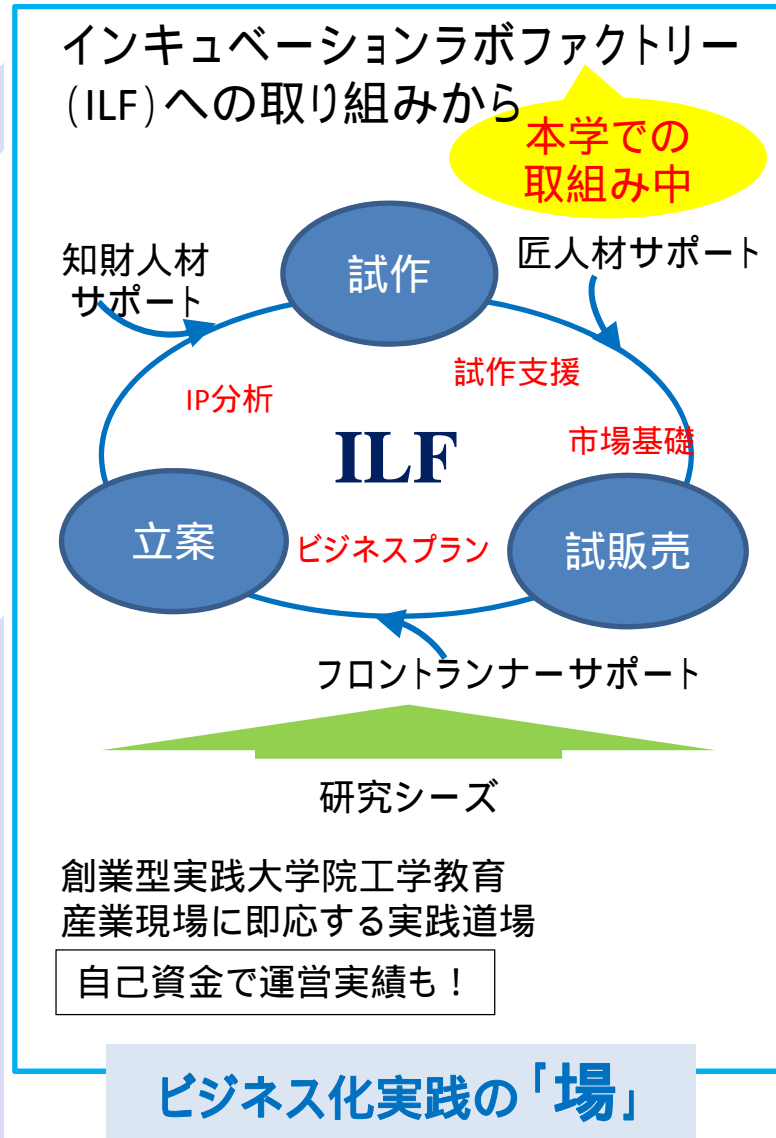
フッ素18標識化合物を供給可能なヒューマノイドロボット制御用のマイコンボードとサーボモータを用いて、安全で安価な高汎用性多目的自動放射性薬剤製造システム(標識合成装置+精製装置)の試作開発

SiC FETを用いた200°C環境下低出力DCモータ駆動システムの開発

高温、高放射線下で動作するロボットシステムの開発を目指し、200°C環境下で動作する15~50W程度の小型DCモータおよびSiC FETを用いたドライバンプの試作開発



多様な出発点をカバーし、協働の場として展開



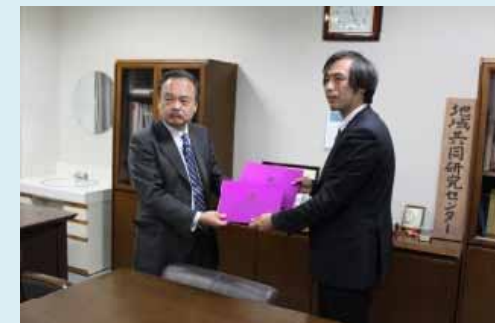
サイクルを確実に回したい！

ASEANとの連携 地域が求めるグローバル展開を共に

海外産学連携研修プログラムの構築

グローバルワークスタイルプロジェクト

サポイン企業が集積する当(福井)地域においても、タイやベトナム、マレーシアといった東南アジア新興国に生産拠点の一部を移転することの必要性が認識されており、その流れが急速化しつつある。地域イノベーション戦略事業においても、このことを意識した産業人材育成のプログラム開発が必要となった。



タマサート大学東アジア研究所との部局間協定締結

国際ワークショップ 2014/2/7、2015/1/22
「タイにおける日本の産業の今後を考える」

海外インターンシップトライアル
2013/8、2014/8 「在タイ地域企業での研修」

ビジネスマッチングコンサルティング



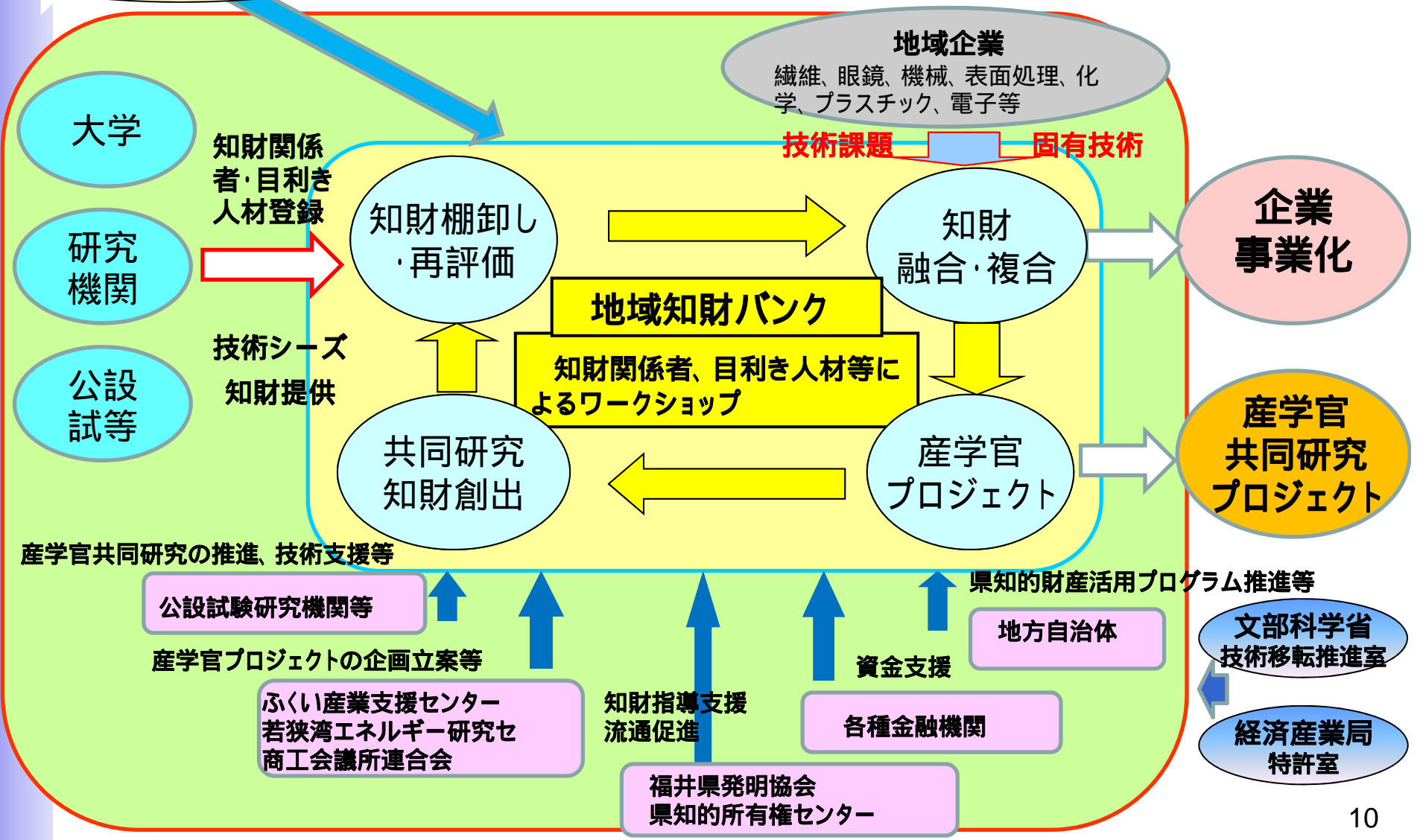
日泰共同での試作実習に関する調査

タマサート、スィーパトゥム、チャンカセームラチャパット、カセサート、カレッジオブアジアンスカラー etc.

「ふくい知財フォーラム」を核としたイノベーション対話の促進

JST、科学技術コンパス

知財を通じた融合促進の場づくり 知財の見極めと融合による技術移転



Outline

・現状の把握

福井の地域事情、産学官連携事情ご紹介
産学官連携活動を取り巻く状況について
何を目指しているのか
福井大学の産学官連携活動の特徴を凝縮してご紹介
数値で見る現状

・「知」の社会提供のために

ILF、地域匠人材
教員の意識
CD・URAの活動
技術を大学へ預かってはどうか？

➡️ プロジェクトを組んで

大プロとのかかわり
ベンチマークという役割
実践教育の題材、地域イノベ人材、支援人材
ローカルなのかグローバルなのか？

・持続的な「知」の創出のしくみづくり

コンサルティングを入口に
競争的資金獲得のサポート
地域に必要とされる大学として
歩みを止めない決意

地域の科学技術振興施策と本事業の位置づけ

平成15年度策定(福井県産力戦略本部)

「最先端技術のメッカづくり基本指針」

県内産学官が一体となって、中長期的な取組み(概ね10年間)を行うための基本となる事項を示すために策定

**「福井経済新戦略」(H22.12策定)がめざす
「福井型未来都市の形成」**

地域結集事業

都市エリア産学官連携促進事業

A-STEP顕在化

NEDO事業

サポイン事業

地域とともにグリーンイノベーションを目指して



大型蓄電デバイス 光-電気変換デバイス 熱輸送デバイス 電力制御技術 都市交通システム

福井の地域性を生かし、持続的なエネルギー利用を実現するためのデバイスや材料の開発を！

時

スーパークラスター 事業
(サテライトクラスター)

利

ふくい地域産学官共同研究拠点
(ふくいグリーンイノベーションセンター)

和

地域イノベーション戦略支援事業
「ふくいスマートエネルギーデバイス開発地域」

「スマートエネルギーデバイス」の開発



ふくい産学官共同研究拠点 (ふくいグリーンイノベーションセンター)

共同研究で拓く安心・安全で低炭素の未来

地域におけるグリーンイノベーションの拠点として

低炭素社会やエネルギー源の多角化の実現と地域産業の持続的な発展を結びつけるため、産学官の力を合わせて福井が有するユニークな技術を活かした共同研究を行っていきます。まずは、リチウムイオン電池や燃料電池材料、パワーデバイス用半導体素子、レーザ利用加工技術、といった「グリーンイノベーション」に関する技術開発拠点としての役割を果たしていきます。それとともに、次世代の技術開発シーズを創出・育成し、技術移転を進めることで地域にスマートエネルギーデバイス産業の集積地を形成することを目指します。



拠点事務局
国立大学法人福井大学産学官連携本部
TEL:0776-27-8956 / FAX:0776-27-8955
E-mail: office@hisac.u-fukui.ac.jp



地域イノベーション事業から広がる基盤産業技術

